

## 入選

浅見 優斗(あさみ ゆうと) 松枝小 2年生

作品名:じぶんの力

図書:まほうのじどうはんばいき

「まほうのじどうはんばいき」という本を読みました。まほうのじどうはんばいきからどんなものが出てくるのだろうと思ったからです。学校のかえりみちに赤や黄、青の色がしましまにぬられていて、光っているかわったはんばいきがあって、よく見るとはんばいきの上のほうには、小さな文字で「あなたのみかた」と書かれています。ただボタンと、うけとり口があるだけでそのボタンをおすとしゅ人この男の子のじぶんのほしいものやひつようなものが出てきます。さいしょはカブトムシが出て、つぎにさん数ドリル、つぎはぞうきん、チョコレート。体いくのテストの前日は、なわとびが出てにが手な二重とびもらくらくできます。そのほかにジュースやさい新のゲームきまで出てきました。でもある日、お母さんがボタンをおしてしまいました。するとまほうのじどうはんばいきは、大空へときえてしまうというお話です。

この本を読んで心にのこったところは、しゅ人この男の子がまほうのじどうはんばいきがきえたあとに、「あのまま、まほうのじどうはんばいきがあったら、ぼくはなんでもはんばいきにたよって、一人じゃなんにもできないダメな大人になっていただろう」と言うところです。もし、じぶんの目の前にまほうのじどうはんばいきがあったら、はんばいきのボタンをおして、かけざんがすらすらできるけん、サッカーのしあい、七点くらいゴールをきめられるけん、ディズニーランドやおいところへすぐ行けるどこでもドアが出てきてほしいなあと思いました。

でもよく考えると、まほうの力で色々なことができて、うれしくないなと思いました。なぜかという、まほうがきえてしまったら、しゅ人この男の子が言うように、一人じゃなんにもできないダメな大人になってしまうと思うからです。さん数のかけざんも、サッカーでゴールして点をとるのも、できるようになるまでがんばってれんしゅうをして、じぶんの力でがんばることが大切なんだと思います。これからは、色々なことをがんばってじぶんの力でなんでもできる大人になりたい

と思いました。